

「21 世紀日本の針路を決める総選挙」

～国民の正しい選択はマニフェストから～

株式会社 日本総合研究所

連絡先 調査部 藤井 英彦
電話 03-3288-4615
メール fujii.hidehiko@jri.co.jp

平成17年08月26日

総選挙直前！「政権公約検証緊急大会」

新しい日本をつくる国民会議（21世紀臨調）

Ⅱ. 政権公約達成度・主要項目評価（各論）

【自民党について】

評価項目：経済の活性化

判定 85 点

	実績	実行過程	説明責任
採点	35/40 点満点	25/30 点満点	25/30 点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	①2003～04 年度 2 年連続実質 2% 成長、②失業率 が 2003 年 5.3% から 2005 年 6 月 4.2%に低下	①経済財政諮問 会議の活発な活 動、②官邸のリ ーダーシップ発 揮および内閣府 との緊密な連携	①マニフェストを ベースに、毎年「骨 太の方針」を策 定・公表、②イン ターネットの積極 的活用

評価項目：簡素で効率的な政府

判定 65 点

	実績	実行過程	説明責任
採点	30/40 点満点	15/30 点満点	20/30 点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	①マニフェスト の 2005 年日本道 路公団民営化を 実現、②三位一 体改革を推進 中、③市場化テスト 導入に着手	①イシューごと に推進本部を立 ち上げて議論を 透明化、②地方 6 団体など関係 者の参画を図り 要望を反映	①タウン・ミーテ ィングの全国的展 開、②各推進本部 や経済財政諮問会 議での議論を迅速 かつ余すことなく 公開

評価項目：社会保障制度改革

判定 60 点

	実績	実行過程	説明責任
採点	25/40 点満点	20/30 点満点	15/30 点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	①2004 年年金制 度改革(基礎年 金の国庫負担を 1/2に引き上げ)、 ②子育て支援サ ービスの拡充	①幅広い国民的 議論を踏まえた 年金改革、②介 護・医療制度や 負担抑制などに ついて論点整理	①年金の負担と支 給を標準モデルで 定量化し具体像を 例示、②年金財政 はケースを分けて 具体的に展望

評価項目：国の基本の見直し

判定 60 点

	実績	実行過程	説明責任
採点	25/40 点満点	15/30 点満点	20/30 点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	①2005 年憲法改正草案を作成、 ②2005 年教育基本法の仮要綱案を作成	①党内論議を軸に憲法改正案を作成、②教育基本法改正は審議会答申を踏まえた案を叩き台に	①憲法改正草案はホームページのほか、タウンミーティングを積極的に実施、②教育基本法案は与党内で議論を深化中

評価項目：国民の安全

判定 60 点

	実績	実行過程	説明責任
採点	25/40 点満点	20/30 点満点	15/30 点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	①2005 年に個人情報保護法が施行、②2005 年に食育基本法が施行、③2004 年に消費者基本法が施行	①個人情報保護法では 2 年弱の期間を設け周知徹底と準備に万全の備え、②ハブリック・コメント制度を積極的に活用	①積極的な情報提供で犯罪の多様化・高度化に対抗、②食育基本法や消費者基本法では担当部局がホームページで丁寧な広報活動

【公明党について】

評価項目：経済・雇用の再生

判定 85 点

	実績	実行過程	説明責任
採点	35/40 点満点	25/30 点満点	25/30 点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	①環境、ハイク等、戦略的研究分野への重点投資、 ②ジョブカフェを設置、③日本版デュアルシステムを導入	①研究開発プロジェクト推進を総合科学技術会議が統括、②若者自立プランは省庁横断プロジェクト	①科学技術会議や経済財政諮問会議が情報公開、②担当部局に加え、ホームページなど党サイトでも積極的に広報

評価項目：世界トップレベルの効率的な政府

判定 65 点

	実 績	実行過程	説明責任
採 点	30/40 点満点	15/30 点満点	20/30 点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	①公務員 1 割削減(独立行政法人化で国家公務員 35%減)、②特別会計の合理化推進(2005 年道路公団民営化)	①イシューごとに推進本部を立ち上げて議論を透明化、②地方 6 団体など関係者の参画を図り要望を反映	①政策目標の定量化やフォローアップを通じて成果と課題を明確化、②行革推進本部など専門部署に権能を集約し情報開示

評価項目：持続可能な社会保障制度

判定 60 点

	実 績	実行過程	説明責任
採 点	25/40 点満点	20/30 点満点	15/30 点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	①2004 年年金制度改革で基礎年金の国庫負担合 1/2 に引き上げ、②年金改革では離婚時の年金分割も実現	①幅広い国民的議論を踏まえた年金改革、②社会保障の在り方に関する懇談会での一体的見直しに向け検討中	①ホームページ等を活用し党サイトでも積極的に情報公開、②マニフェスト進捗の専用ページをホームページに設け、現状と課題を明示

評価項目：教育活性化プラン

判定 60 点

	実 績	実行過程	説明責任
採 点	25/40 点満点	20/30 点満点	15/30 点満点
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	①2004 年に学校運営協議会制度導入、②2005 年度、ほぼ全公立中学校へのスクールカウンセラーの配置完了の見込み	①学校運営協議会制度は中央教育審議会の答申を経て法制化、②英語教育必修化は中央教育審議会にて検討中	①ホームページ等を活用し党サイトでも積極的に情報公開、②学校運営協議会やスクールカウンセラーは担当部局や自治体に加え党サイトも広報

積算手法：形式要件(法案化など着手の有無)と実質要件(内容)の両面から検討。

形式要件の充足度、実質要件の充実度からそれぞれ点数評価し合算。

点数配分：①実績、②実行過程、③説明責任の 3 要件は政権公約の達成度評価の 3 大要素。加えて実績重視の必要からそれぞれ 40、30、30 で配点。

Ⅲ. 新政権公約の検証と総選挙の争点

(1) 各党が公表する新しい政権公約の検証とコメント

① 政権公約としての形式的要件の検証、評価

〔自民党〕

- ① 明確性：改革スキームや期限を明記し、具体的
- ② 網羅性：重要な論点や国民の関心事をほぼカバー

〔民主党〕

- ① 明確性：予算規模や期限を明示し、具体性に富む
- ② 網羅性：重要な論点や国民の関心事をほぼカバー

〔公明党〕

- ① 明確性：遂行スキームや期限が明確で、具体的
- ② 網羅性：主張に力点、加えて重要な論点もカバー

② 政権公約の内容についてのコメント

〔自民党〕

- ① 理念性：小さな政府路線を鮮明に打ち出している
- ② 整合性：社会保障の充実と財政再建の両立に疑問
- ③ 実効性：医療費抑制策の具体的方策がやや不透明

〔民主党〕

- ① 理念性：小さな政府か大きな政府か、やや不透明
- ② 整合性：社会保障の充実と財政再建の両立に疑問
- ③ 実効性：17兆円歳出削減の具体策がやや不透明

〔公明党〕

- ① 理念性：小さな政府か大きな政府か、やや不透明
- ② 整合性：社会保障の充実と財政再建の両立に疑問
- ③ 実効性：医療費抑制策の具体的方策がやや不透明

(2) 総選挙で政権掌握をめざす政党が国民に問うべき争点

- 1) 政府の役割・機能…小さな政府か、大きな政府かの基本路線
- 2) 公的負担のあり方…政府機能を賄う費用総額と負担スキーム
- 3) 政府内の機能分担…国と地方の権限・財源
- 4) 改革実現の枠組み…具体的推進プログラムとタイムスケジュール